

信濃毎日新聞
防災
 キャンペーンPR特集

被災地から 感謝をこめて



あまりの被害に道方に暮れる中、非常に多くの人たちが手を差し伸べてくれました。2年たちもまだ前を向いている私たちから、支えてくれた人々に向けたメッセージです。

※撮影のためにマスクを鼻にかけていただきました。



上田市黒田

有鯨西 つけば小屋 西沢 徳雄社長

水害やトイレが壊れ、騒音や国際線は遅水、業務者や地域住民、交通費の増えからの多岐に及ぶと、苦しんでいる」という声が多くなりました。これらも上田の「高物産」を守っています。



長久市白田

麵匠文蔵 白田店 北澤 匠也様

遅くて3カ月間営業です。被災地へ、会場でラーメンの焼き出しを中止し、感謝や激励の声が多く寄せられ、私としても自分のおも返りさせていただいたのが励みになりました。



長野市橋保

珠ミールケアの皆さん

パン工場が被災し、機械も全て失われ、目のある方や全国の子どもたちからの手紙に支えられ、社員一丸となって復旧に奮闘。より安心・安全なお菓子を提供しています。



長野市松代町

五明農園 五明 博彰さん

収穫直前の長芋も出荷予定などの情報も全て壊れ、今も土が足りず、畑の面積は以前の1割に、長芋づくりを諦めざるを得ない。中でも、回答に負けない言葉と励みで日々工夫を凝らしています。



長野市羅ノ井会

藤アラクワ 荒川 麗社長

朝日の浸水で、商材である各地の富士産梨は全て廃棄、被害の大きさに深刻とりましたが、てきぱき動くボランティアの方々の一絲一毫の力を借り、今こころがけの活動ももたらしました。



千曲市中

宮城商店(木の花園)の皆さん

工場が床より20cm浸水、被災地に心を寄せてきたつもりでしたが、当事者になるのは全く違うと実感。地元で経営する企業として、伝統の漬物文化とともに被災の復興の貢献に尽力していきたいです。